

## 高野線の煉瓦造暗きよ群(狭山駅～大阪狭山市駅間) 「土木学会選奨土木遺産」に認定されました！

南海電鉄(社長:遠北光彦)では、高野線(狭山駅～大阪狭山市駅間)の7つの煉瓦造暗きよが、その歴史的文化的価値が認められ「大阪狭山市域の南海電鉄煉瓦造暗渠群」として、「土木学会選奨土木遺産」に認定されたので、お知らせいたします。

7つの煉瓦造暗きよは、正確な竣工年は定かではありませんが、関係資料などから、明治期後半に竣工したものと考えられ、地元では、順に番号を付して「～号暗きよ」と呼ばれ親しまれています。明治期に煉瓦積み工法などの土木技術の粋を集め丁寧に施工された「暗きよ」は、今も現役の通路や水路として活用されており、毎年春には、築堤に咲く桜とともに、煉瓦造暗きよの上を電車が走る風景を撮影する南海電車ファンも多く、衆目と愛着を集めています。

長きにわたりインフラとして機能し続けてきた同暗きよ群を、引き続き当社では、適切に維持管理し安全運行に努めて参ります。詳細は以下のとおりです。

### 認定された構造物 「大阪狭山市域の南海電鉄煉瓦造暗渠群」

- 第40号暗きよ(1号暗きよ) 径間: 2.44m(通行可)
  - 第41号暗きよ(2号暗きよ) 径間: 3.05m(通行可)
  - 狭山里道暗きよ(3号暗きよ) 径間: 3.66m(通行可)
  - 第42号暗きよ(4号暗きよ) 径間: 1.52m(水路)
  - 狭山里道架道橋(5号暗きよ) 径間: 6.10m(通行可)
  - 第43号暗きよ(6号暗きよ) 径間: 2.44m(通行可)
  - 東徐川暗きよ(7号暗きよ) 径間: 3.60m(水路)
- ※7号暗きよは、稀少な「ねじりまんぼ(斜拱橋)」形式

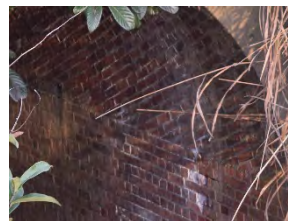
認 定 日 2020年9月18日(金)



1号暗きよ(大阪狭山市教育委員会提供)



5号暗きよ  
(大阪狭山市教育委員会提供)



7号暗きよ「ねじりまんぼ(斜拱橋)」形式(大阪狭山市教育委員会提供)



<参考> 明治31年(1898年)1月 高野鉄道株式会社 大小路(現:堺東)駅～狭山駅間開通  
 明治31年(1898年)3月 高野鉄道株式会社 狭山駅～長野(現:河内長野)駅間開通  
 昭和13年(1938年)2月 南海鉄道株式会社 汐見橋～長野駅間複線開通